

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary
ロータリー:
変化をもたらす



第1295回 例会報告 (2018年5月17日)

ガバナー補佐訪問例会

会長、幹事

■司会 / 中野 強 SAA ■ロータリーソング / 君が代、奉仕の理想

■ゲスト / D2630 RI 鈴鹿亀山 Gr. AG 河田勝正 様

■会長挨拶 / 大泉博典 会長

国際ロータリー第2630地区河田ガバナー補佐様一年間ありがとうございます。

又「おじさん先生」ではお世話になりました。ガバナー補佐さんはじめ鈴鹿西 RC の沖さん、川戸さん、田中さん、そしてベイ RC の中村さん、川岸さん、平野さん、磯部弘生さんと私くしでさせていただきました。

さて、5月12日に7ベイ友好会に参加をしてまいりました。開催は神戸ではなく、大阪で開催されました。梅田スカイビルでサミット会議、例会、懇親会で前後で天空美術館と空中庭園展望台でした。サミットの報告をさせていただきます。

○第14回地域社会奉仕事業助成金報告の件

助成金 120,000 円を充電式インパクトドライバーを鈔路市にあるこども遊学館に寄贈しました。

○交流会のホスト RC

第24回 (2018年) 神戸ベイ RC → 第25回 (2019年) 東京ベイ RC →

第26回 (2020年) 鈴鹿ベイ RC → 第27回 (2021年) 横浜ベイ RC

天空美術館では「絹谷幸二」さんの作品でした。作品の中に今年新生した名古屋の御園座の緞帳用に描かれた原画を積水ハウスが発注し27年ぶりに新たに織られた緞帳は高さ10メートル幅24メートル、重量は1tを越える巨大なもので名古屋城が描かれている。7ベイ友好会は1日でしたが充実した1日でした。参加をいただいたメンバーのみなさまありがとうございました。

■幹事報告 / 磯部弘生 幹事

- (1) 本日は、河田ガバナー補佐訪問例会よろしくお願い申し上げます。
- (2) おじさん先生、7ベイ友好会、ご参加の皆様ご苦勞様でした。来年もよろしくお願い致します。
- (3) 例会終了後、新旧理事役員会を開催致します。
- (4) 5月24日 (木) サポーター会員参加例会のご案内をFAXさせていただきます。
サポーター会員様のお名前をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。
- (3) 5月のロータリーレートは108円です。

■出席報告

例 会 日	会員数	出席者	欠席者	出 席 率
5 月 17 日	12 名	9 名	3 名	75.00%

2 週間前の補正後出席率 12 名中 9 名 75.00%

■ニコボックス

鈴鹿西 R C

河田勝正……ガバナー補佐、クラブ訪問最終回です。宜しく御願います。

■例会 / 鈴鹿・亀山グループ ガバナー補佐 河田勝正様 訪問例会

「ガバナー補佐性格論とその回顧録」 —現代的課題に対して—

1. はじめに ロータリーとは何か？その意義と限界即ち本質追求は我々ロータリアンのまたなき務めである。

2017-18 年度 RI ライズリー会長のテーマ「ロータリー：変化をもたらす」次いで第 2630 地区田山雅敏ガバナーの地区活動方針テーマ「未来を創造しよう」…10 年後のロータリーは…に対して、私のミッションは個別的具体的理論、実践の橋渡的存在としてグループ内の各会員にどこ迄浸透出来るか、であった。処で、ガバナー補佐指名受諾するに際し、事業の第一線・経営者とし現役の立場が最大難関で、何度も辞退するもロータリー観の「集大成」「ロータリーの精神的物質的基盤再構築」の最後の場として自分を納得させた。



2. 問題提起 ロータリーは今や創立以来、大変革・大転換期を迎えている。2007 年規定審議会制定案 07-329 に端を発し、2016 年 4 月の審議会に於いては、日本のロータリーの根幹をなす「職業奉仕」概念を削除し、「人道的奉仕・社会的奉仕」を第一義に掲げている。その基本的視角の変換は、「史的考察」からも創立目的に反しているものではないか。ロータリーの社会的経済的生成基盤は、職業奉仕が基礎となり、113 年の経過という厳然たる事実が存す。 RI ! クオ・ヴァディス (汝 何処へ行かん！)

3. 個別的具体的展開 —会員増強対応策について—

RI 立法機関である規定審議会、制定案 2016 年版は歴史的な大改革であり、総ての改正はクラブの自主性に重きを置き、「会員増強」に通じる道である。

増強策は、RI の意に反し形式的技術的には「職業分類表」の未充填業を補填することである。一見、形式的にみえるが、実は目標確保の為の強力な手段である。然し私見は、実質的内容的側面において現会員がロータリアンとしての、あるべく姿を追求し、原点に戻り「奉仕の理想実現」に邁進すべきである。それは「魅力あふれるロータリー」作りであり、必然的に入会者が集まるものである。結論は **As You Like It!** “RIBI” の資料

4. おわりに 再度問う、「ロータリーとは何か」ポールハリスいわく「ロータリーとは(人生)哲学」である。**私はロータリーが好きである。**哲学的命題ではあるが、好きに理由はない。そこから出発し、ロータリーの課題解明の第一歩は「問題意識の明確化」である。そしてロータリーの原点に戻り自分なりの自主性、主体性をもったロータリー理論の「再構築」である。 究極の一言 **Rotary with Philosophy of Human Love!**